

関西経済レポート

雇用関係指標の急速な悪化など、関西経済は厳しい状況が続いている。4月の日銀大阪支店の景況判断も前月よりさらに厳しい認識が示された。一方、在庫の減少、輸出のマイナス幅縮小など、一部の指標で悪化に歯止めがかかる兆しもみられる。

2009年5月1日

関経連経済調査部

(担当：田村・西村)

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
輸出入	2
生産	4
設備投資	5
倒産	6
雇用	7
個人消費	9
住宅投資	11
公共事業、株価為替の動き	12
今後の経済見通し	13

～政府・日銀の景気判断～

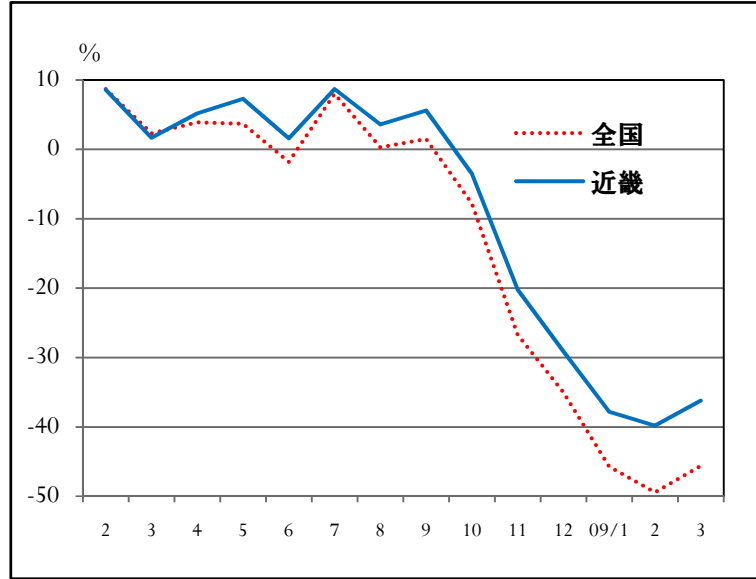
	近畿地区金融経済概況		金融経済月報		金融経済月報		月例経済報告	
	近畿	日銀大阪支店	中部	日銀名古屋支店	全国	日銀	全国	内閣府
2008年5月	⇒	一部には減速の動きが見られるが、基調としては緩やかに拡大している。	⇒	緩やかな拡大基調にあるが、その速度は足もと鈍化している。	⇒	減速している。	⇒	景気回復はこのところ足踏み状態にある。
2008年6月	⇒	一部には減速の動きが見られるが、基調としては緩やかに拡大している。	⇒	緩やかな拡大基調にあるが、その速度は足もと鈍化している。	⇒	減速している。	↘	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる。
2008年7月	↘	減速している。	↘	引き続き高水準にあるが、足もとは減速がはっきりしてきている	↘	さらに減速している。	⇒	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる。
2008年8月	⇒	減速している。	⇒	引き続き高水準にあるが、減速がはっきりしてきている	↘	停滞している。	↘	このところ弱含んでいる。
2008年9月	⇒	減速している。	⇒	なお高水準を保っているものの、はっきりとした減速が続いている。	⇒	停滞している。	⇒	このところ弱含んでいる。
2008年10月	↘	停滞している。	↘	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	⇒	停滞している。	↘	弱まっている。
2008年11月	⇒	停滞している。	⇒	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	↘	停滞色が強まっている。	↘	弱まっている。さらに下押し圧力が急速に高まっている。
2008年12月	↘	停滞色を強めている。	↘	急速に下降している。	↘	悪化している。	↘	悪化している。
2009年1月	↘	悪化している。	⇒	急速に下降している。	↘	大幅に悪化している。	↘	急速に悪化している。
2009年2月	↘	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	↘	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年3月	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年4月	↘	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。

○日銀大阪支店は4月の景況判断を「大幅に悪化しており、厳しい状況にある」とした（3月より悪化）。

- ・海外経済の急減速や円高を背景に輸出が引き続き「大幅に減少」していると判断。設備投資は、内外需要の弱さと企業収益の減少により引き続き「高水準ながら減少幅が拡大している」と見方を厳しくした。
- ・個人消費も、「弱い動きが続いている」としたが、生産は引き続き「大幅な減少が続いている」としたが、「在庫は増加に歯止めがかかりつつある」との判断を加えた。

～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移（09年3月まで）

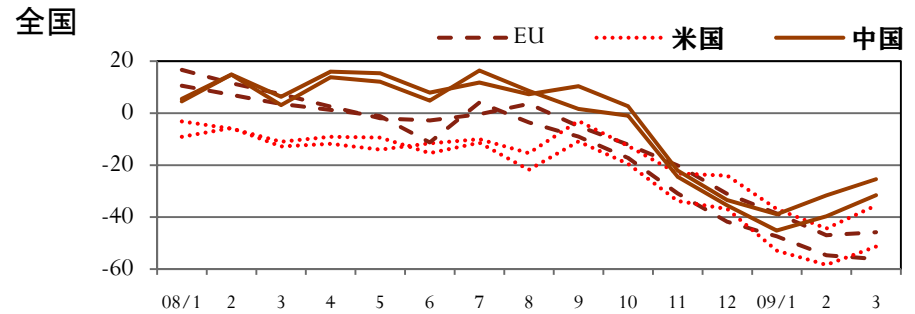
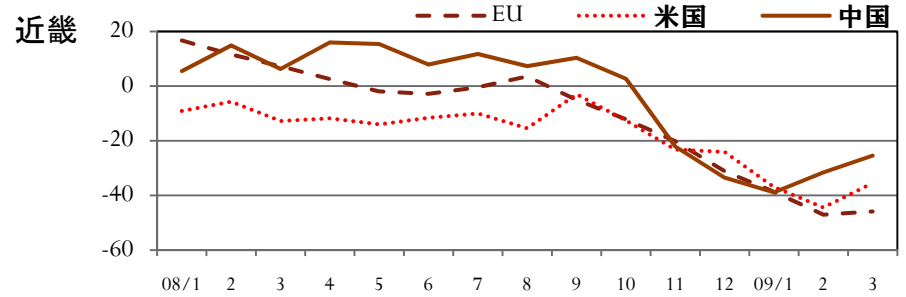


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

○関西の月次の輸出動向（09年3月速報まで）

- ・ 09年3月の関西の輸出は前年同月比▲36.2%と大幅減。地域別では、アジア▲33.6%、中国▲25.4%、EU▲45.8%、米国▲35.5%と大きく減少。建設用・鉱山用機械、半導体等電子部品、鉄鋼が減少に寄与。
- ・ 但し、マイナス幅は縮小。地域別では、特に、米国向け、中国向けが、商品別では、化学製品、原料別製品、電気機器等でマイナス幅が縮小。
- ・ 全国は3月が▲45.5%で、大幅減ではあるもののマイナス幅は縮小。

08年地域別・商品別輸出内容比較

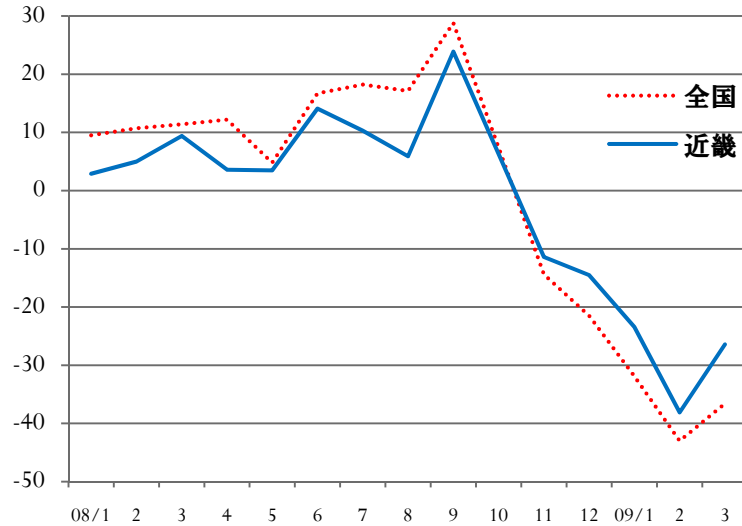


* 網掛は、マイナス幅の縮小した商品

商品名	近畿		全国	
	2月	3月	2月	3月
全体	▲39.8 →	▲36.2	▲49.4 →	▲45.5
食料品	▲15.2 →	▲18.4	▲20.8 →	▲7.9
原料品	▲33.8 →	▲33.5	▲40.9 →	▲35.2
鉱物性燃料	▲38.8 →	▲59.6	▲46.5 →	▲49.6
化学製品	▲39.5 →	▲28.7	▲46.8 →	▲31.5
原料別製品	▲41.3 →	▲32.8	▲44.1 →	▲37.7
一般機械	▲37.1 →	▲43.8	▲47.9 →	▲47.1
電気機器	▲41.1 →	▲30.5	▲49.9 →	▲43.9
輸送用機器	▲47.2 →	▲45.9	▲58.6 →	▲58.4
その他	▲38.1 →	▲37.4	▲40.8 →	▲36.7

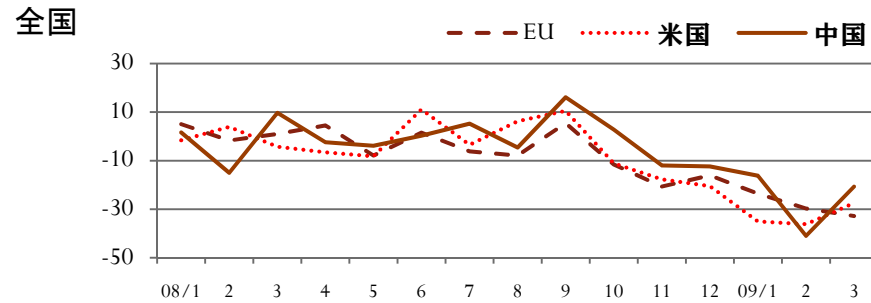
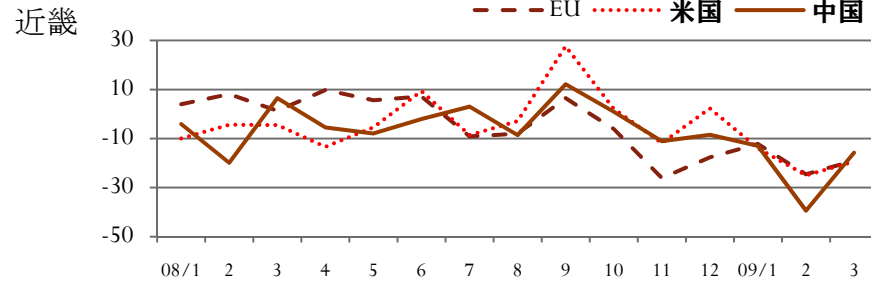
～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（09年3月まで）



出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

08年地域別・商品別輸入内容比較



○関西の月次の輸入動向（09年3月速報まで）

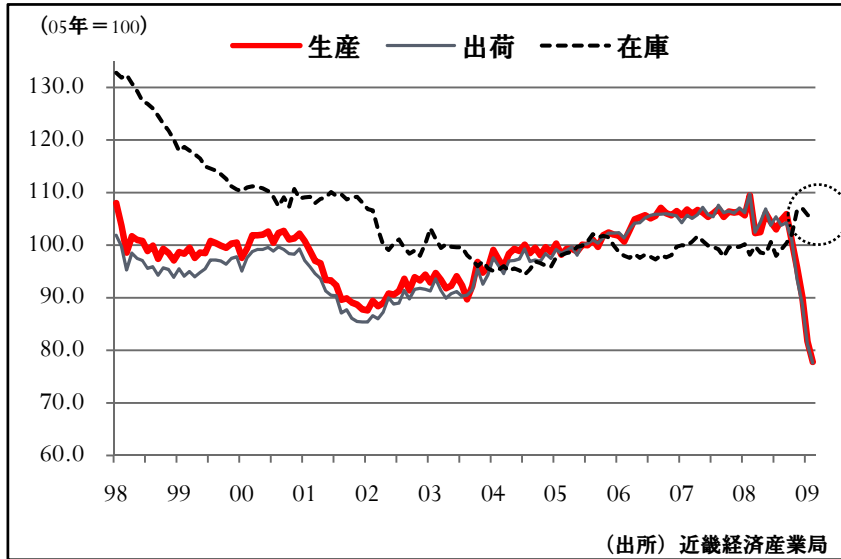
- ・09年3月の関西の輸入は前年同月比▲26.4%と5カ月連続の減少だが、マイナス幅は縮小。地域別では、アジア▲23.8%、EU▲19%、中国▲15.8%、米国▲19.4%。
- ・商品別では原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、非鉄金属、半導体等電子部品が減少に寄与。原油及び粗油、天然ガス及び製造ガスの減少は価格下落の影響が大きい。
- ・全国は3月が▲36.6%と大幅減少ではあるものの、マイナス幅は縮小。

* 網掛は、マイナス幅の縮小した商品

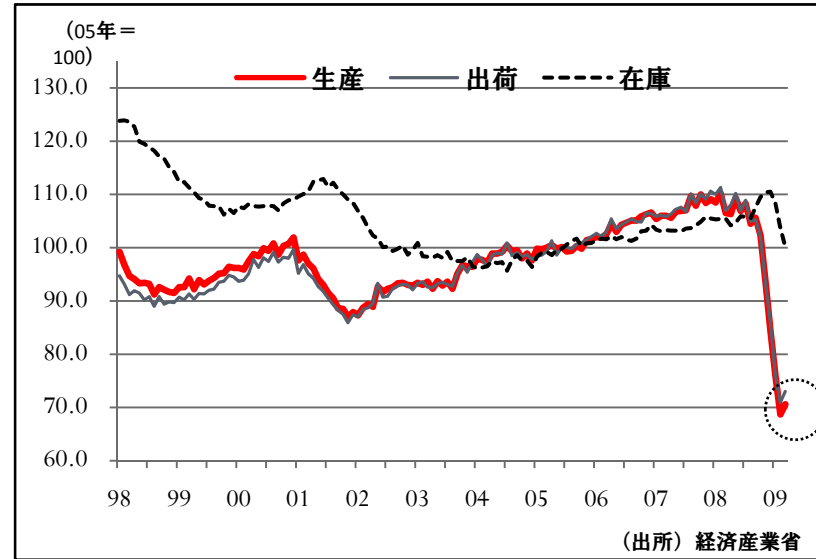
商品名	近畿		全国	
	2月	3月	2月	3月
全体	▲38.1	▲26.4	▲43.0	▲36.6
食料品	▲18.9	▲5.9	▲21.0	▲13.2
原料品	▲38.9	▲44.4	▲45.0	▲47.4
鉱物性燃料	▲50.3	▲41.3	▲51.4	▲50.6
化学製品	▲27.7	▲16.3	▲30.4	▲24.9
原料別製品	▲46.6	▲35.2	▲48.6	▲40.9
一般機械	▲40.4	▲35.8	▲39.0	▲32.2
電気機器	▲36.9	▲33.1	▲43.9	▲37.2
輸送用機器	▲51.0	▲25.6	▲47.1	▲34.6
その他	▲29.5	▲2.6	▲33.9	▲13.1

～生産～

鉱工業指数の推移（前月比 近畿 09年2月速報まで）



鉱工業指数の推移（前月比 全国 3月速報まで）



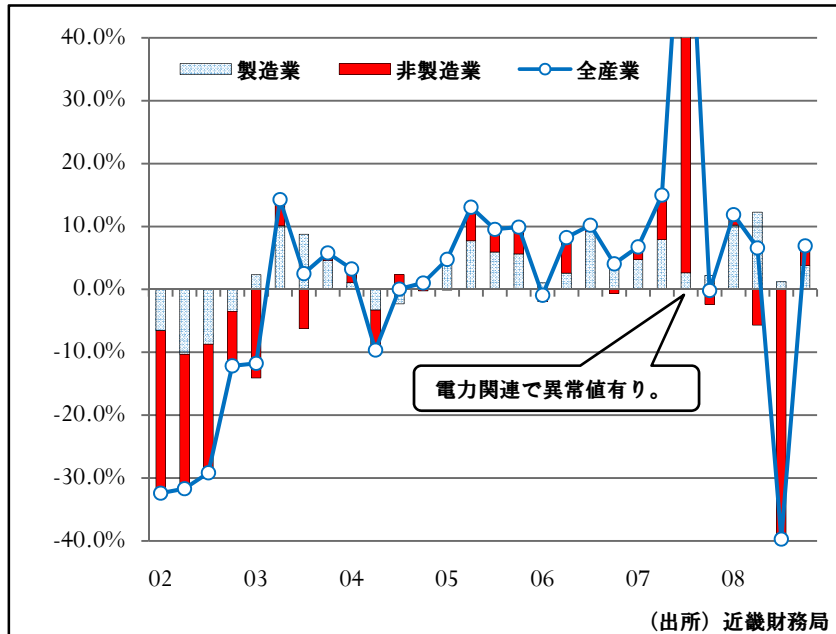
業種別鉱工業生産指数（前月比）

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿2月	▲4.7	▲8.5	▲13.0	9.6	▲13.5	2.1	▲9.4	▲16.1	1.4	2.4
全国2月	▲9.4	▲9.2	▲9.5	▲16.0	▲11.4	▲9.4	▲3.7	▲22.5	▲2.3	3.2
全国3月	1.6	▲4.0	▲3.3	5.6	5.5	1.4	10.3	2.3	—	—

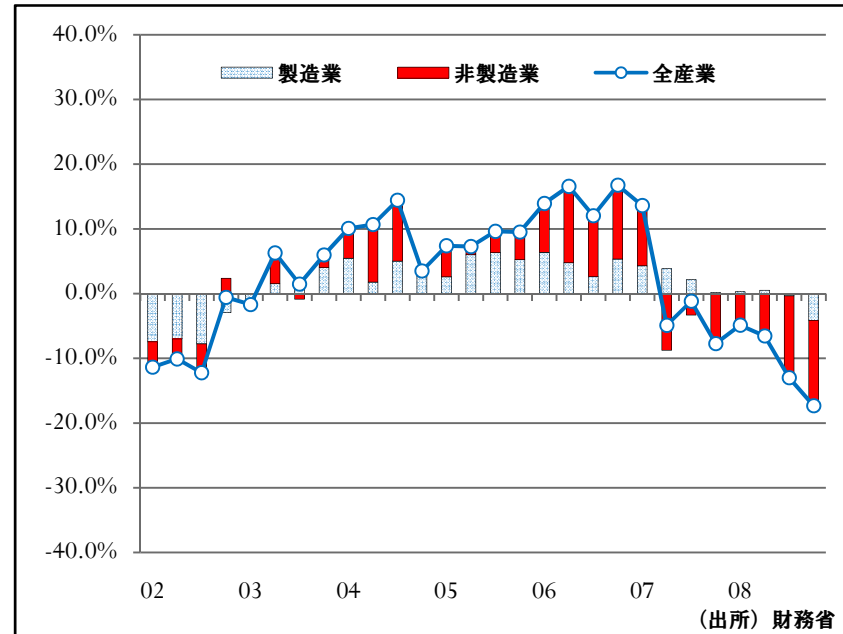
- ・近畿の生産は低下中。09年2月（速報）の鉱工業生産指数は77.8と前月比▲4.8%。特に電気機械（セパレート型エアコン）、輸送機械（小型自動車）、金属製品（橋梁・鉄骨）などが低下に寄与。
- ・ただし、需要減に伴い出荷も低下（前月比▲4.4%）している一方、在庫も▲1.0%と低下に転じるなど、底打ちを試す動きも見られる。
- ・全国の3月（速報）の鉱工業生産指数は70.6と前月比+1.6%と6カ月ぶりに上昇。電子部品・デバイス工業、一般機械工業、電気機械工業が上昇に寄与。出荷も同+1.4%で6カ月ぶりに上昇、在庫は同▲3.3%、3ヶ月連続で低下。
- ・製造工業生産予測調査（4月調査）によると4月生産は前月比+4.3%、5月生産は+6.1%。化学工業・輸送機械・電子部品デバイスなどが牽引。

～設備投資～

設備投資額前年同期比（～08年10～12月期・近畿）



設備投資額前年同期比（～08年10～12月期・全国）



○09年3月発表の法人企業統計（08年10～12月期）による（金融業・保険業を除く・含むソフトウェア）。

- ・近畿地区の08年10～12月期の設備投資は前年同期比6.9%増。製造業を中心に依然増加基調にある。ただし、大阪湾ベイエリアを中心とした投資計画の見直しが相次いで報道されるなど、先行きは弱含み。
- ・全国の08年10～12月期の設備投資は前年同期比▲17.3%。特に07年以降は非製造業を中心に低迷が続く。

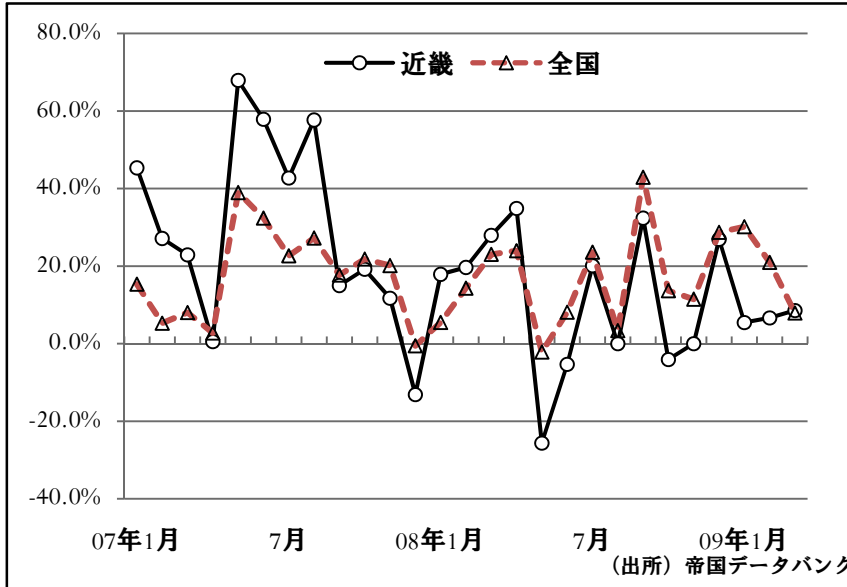
○日銀短観によると、09年度の設備投資額は、前年比マイナスが見込まれる。特に、製造業の中小企業で大幅減。

【参考】短観 設備投資額(09年3月調査)

	全国		近畿	
	08年度：前回調査比	09年度	08年度：前回調査比	09年度
全産業	▲5.4(▲2.7)	▲14.3	2.5(▲3.3)	▲8.1
大企業	▲3.3(▲3.1)	▲6.6	0.9(▲3.6)	▲6.5
中小企業	▲12.0(▲0.5)	▲35.6	2.5(3.3)	▲16.7
製造業	▲4.3(▲4.3)	▲20.0	▲2.1(▲4.1)	▲11.0
大企業	▲2.4(▲4.7)	▲13.2	▲1.6(▲4.4)	▲9.1
中小企業	▲8.5(▲1.0)	▲42.2	▲18.1(▲3.0)	▲34.3
非製造業	▲6.0(▲1.8)	▲11.2	7.5(▲2.6)	▲5.3
大企業	▲3.8(▲2.2)	▲2.7	3.7(▲2.7)	▲3.7
中小企業	▲13.7(▲0.3)	▲32.1	16.0(6.6)	▲8.5

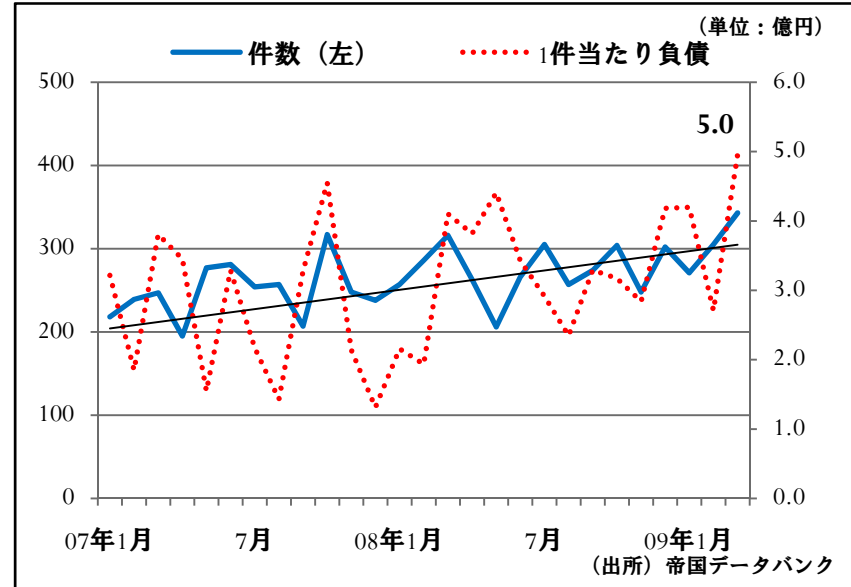
～倒産～

倒産件数・前年同月比の推移（07年1月～09年3月）



- ・ 09年3月の近畿の倒産件数は343件（前年比+8.5%）と増加した（全国1,216件：+7.9%）。
- ・ 08年度累計では3,344件（前年度比+6.7%）。全国では13,234件と+16.8%増化した。

近畿の倒産件数と1件当たり負債総額の推移



- ・ 近畿の倒産件数は07年5月以降23か月連続で200件を超える。中規模企業の構成比が増えてきており、1件あたり負債総額も漸増傾向。（09年3月は株大阪WTCビルディングの大型倒産有り）

3月以降の近畿の大型倒産

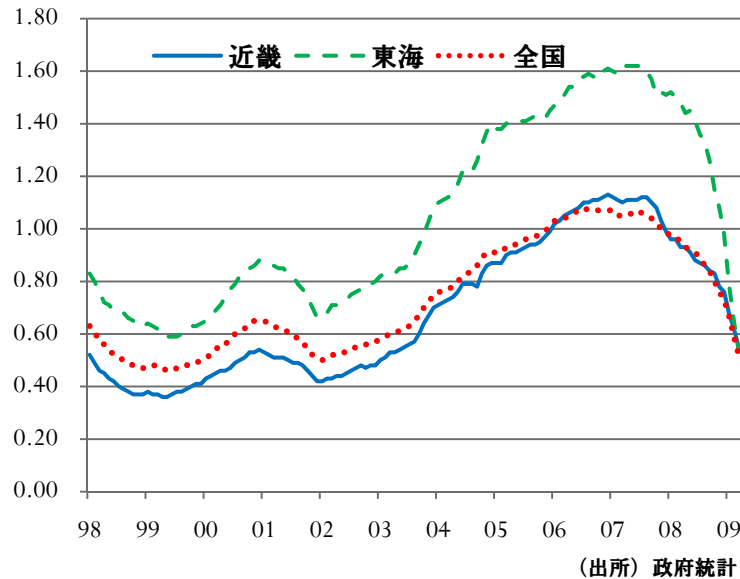
3月	株大阪WTCビルディング	大阪	WTC運営	643
	株ダイドーサービス	兵庫	マンション開発	157
	三和実業株	大阪	商業印刷	60
	株三加恵酒店	京都	酒類卸小売	40
	株二上鉄工所	大阪	印刷機械製造	40
4月	株アトラス	大阪	建材製造卸	50
	株セブン	大阪	菓子製造卸	30

(単位：億円)

(出所) 帝国データバンク

～雇用～

有効求人倍率の推移（09年3月まで）



09年6月までの非正規労働者の雇い止め状況（3月調査）

（就業形態別の全国の集計結果）

	合計	派遣	契約（期間工等）	請負	その他
期間満了	102,365	58,723	31,889	6,538	5,215
解雇・中途解除	77,861	57,424	6,271	7,817	6,349
不明	11,835	9,192	1,035	1,201	407
合計	192,061	125,339	39,195	15,556	11,971

（都道府県別の集計結果：多い順）

（参考）

①愛知県	32,014	16.7%
②長野県	8,997	4.7%
③静岡県	7,986	4.2%
④三重県	7,959	4.1%
⑤福島県	6,352	3.3%

近畿	17,486	9.1%
滋賀県	5,713	3.0%
京都府	2,550	1.3%
大阪府	3,335	1.7%
兵庫県	3,853	2.0%
奈良県	1,408	0.7%
和歌山県	627	0.3%

（出所）厚生労働省

地域別有効求人倍率（09年3月：下段は前月比）

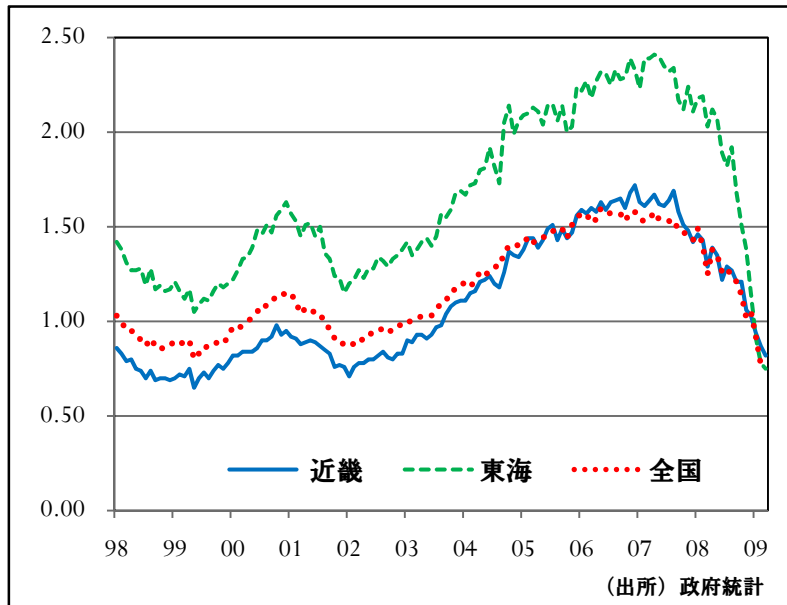
全国	東海	近畿	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
0.52	0.54	0.55	0.45	0.58	0.59	0.51	0.52	0.62
-0.07	-0.11	-0.07	-0.04	-0.04	-0.08	-0.05	-0.05	-0.07

- ・ 09年3月の近畿の有効求人倍率は0.55と前月比▲0.07。06年12月の1.13をピークに低下。但し過去10年でのボトムは99年4～5月の0.36。
- ・ 地域別のトップは南関東の0.64。前月からのマイナス幅が大きかったのは、有効求人数の減少の大きかった東海(▲0.11)。

- ・ 厚生労働省の発表（3月調査）によると、6月までに雇い止めとなる非正規労働者は192,061人と、12月調査時（85,012人）、1月調査時（124,802人）、2月調査時（157,806人）比増加している。
- ・ 都道府県別には愛知県が断トツのトップとなっている。

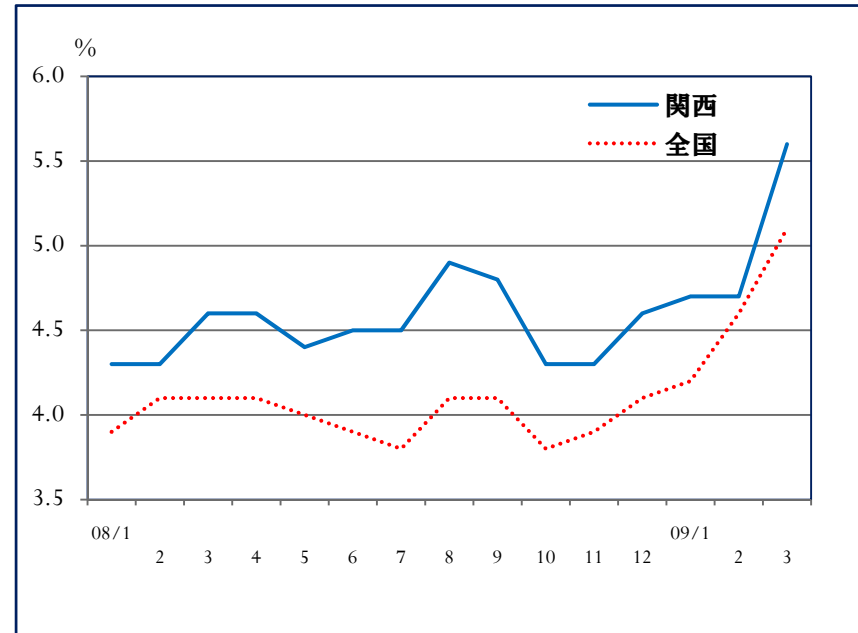
～雇用～

新規求人倍率の推移（09年3月まで）



- ・ 09年3月の近畿の新規求人倍率は0.82倍、前月比 ▲0.05。5か月連続で低下。
- ・ 全国は0.76倍。全国0.76倍は63年以降最も低い倍率。(近畿の最低値は、0.65倍(99年5月))
前月比では、▲0.01低下でマイナス幅は縮小。

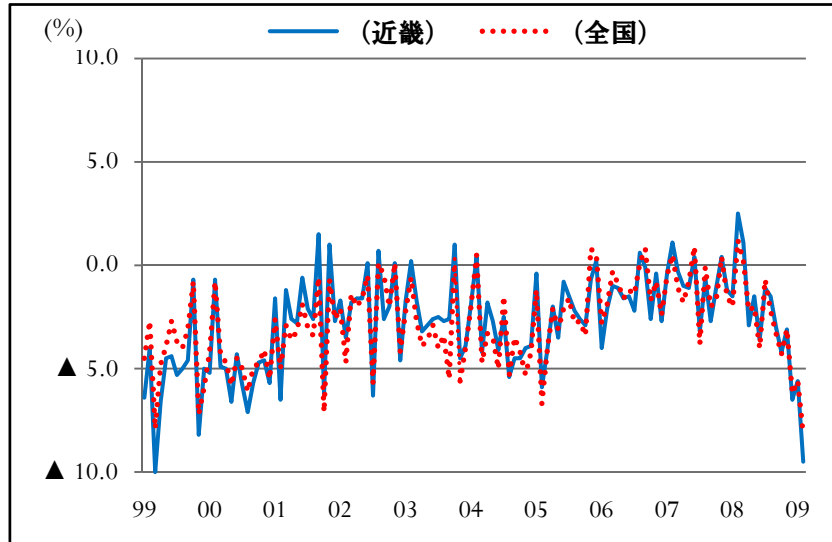
失業率の推移（09年3月まで）



- ・ 09年3月の近畿の失業率は5.6%で前月(4.7%)から急速に悪化。完全失業者数が急増している。
- ・ 全国は5.1%で前月(4.6%)から悪化。
- ・ 83年以降、失業率の最悪の値は、近畿7.1%(02年7-9月期)、全国5.5%(02年4-6月期、03年1-3月期、4-6月期)。

個人消費

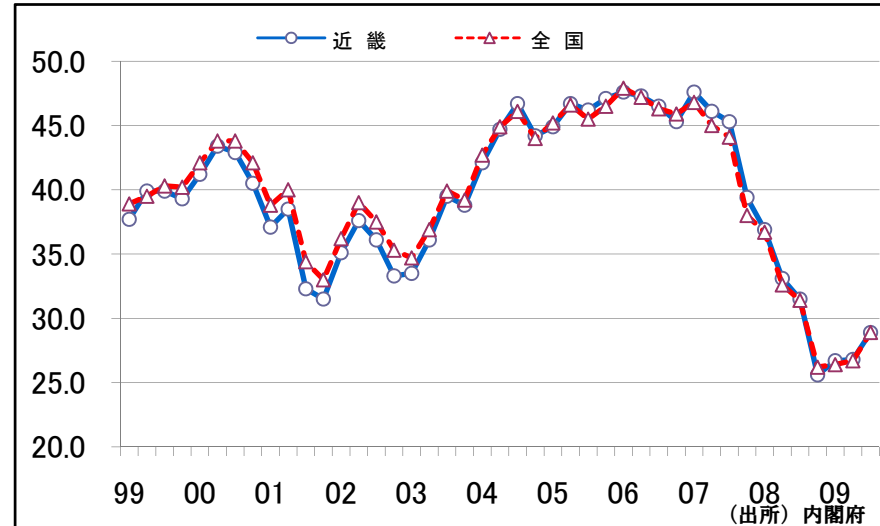
大型小売店売上高（前年同月比・09年2月速報まで）



（出所）近畿経済産業省

- ・個人消費は低調に推移している。近畿の09年2月の大型小売店売上高（既存店ベース）は前年比▲9.5%と11ヶ月連続でマイナス。
- ・百貨店は▲13.2%（12か月連続のマイナス）。比較的堅調であった食料品を含むすべての商品で前年同月比マイナス。特に、衣料品（重衣料など婦人服）、身の回り品（靴・鞆）や家具等の落ち込みが大きい。
- ・スーパーは▲6.8%と3か月連続のマイナス。洋食器、台所用品等が好調だった「家庭用品」は前年を上回ったが、衣料品、飲食料品、家具・家電等はマイナス。

消費者態度指数（09年3月まで）



- ・3月の消費動向調査によると、近畿の消費者態度指数は28.9と、2月調査より+2.1改善した。

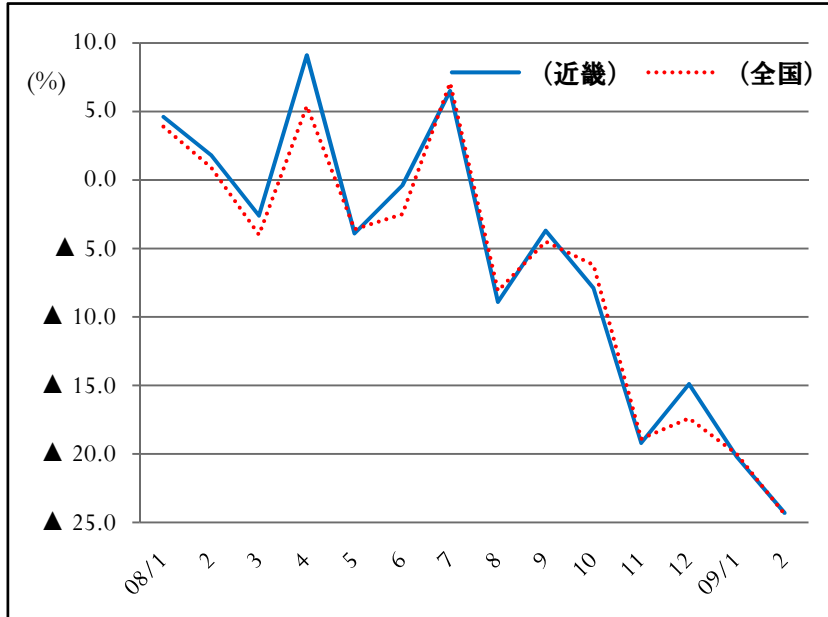
消費者態度指数の構成（全国・09年3月）

		指数	前年同月比
消費者態度指数		28.9	▲ 7.8
指 数 の 構 成 指 標	暮らし向き	31.1	▲ 3.3
	収入の増え方	32.0	▲ 6.7
	雇用環境	18.3	▲ 19.3
	耐久消費財の買い時判断	34.2	▲ 2.0

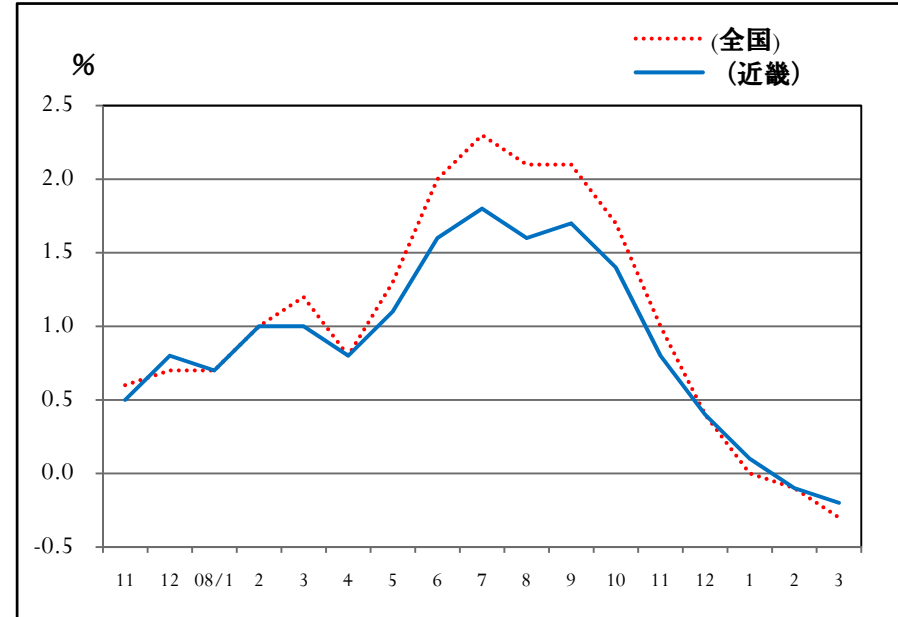
- ・態度指数の構成指標は以上の通り。特に、「雇用環境」の低下が続く。

個人消費

新車登録台数（前年同月比・09年2月まで）



消費者物価指数（前年同月比・09年2月まで）



(出所) 近畿経済産業省

・ 近畿の09年2月の新車登録台数は前年比▲24.3%と7ヶ月連続でマイナス。

・ 車種別では、普通車(▲38.9%)のマイナスが大きく、小型車▲23.9%、軽四車▲9.4%。普通車、小型車は7か月連続、軽四車は3ヶ月連続のマイナス。

・ 近畿の09年3月の消費者物価指数は前年同月比0.2%減(全国は0.3%減)。2か月連続の低下。

・ 交通通信(ガソリン)、教養娯楽等が低下に寄与。上昇したのは、光熱水道や食料等。

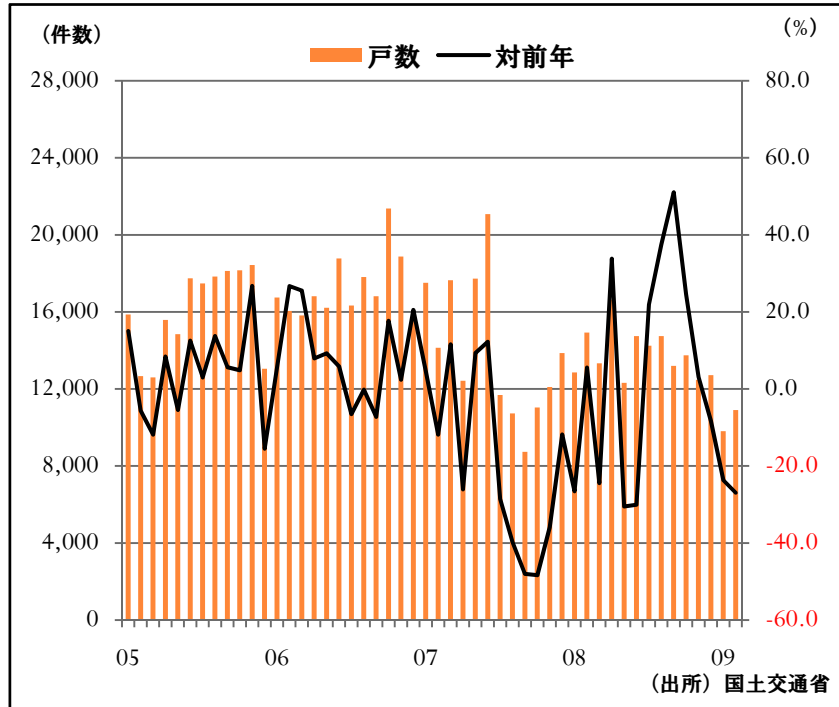
【参考—家電販売額】

・ 近畿の09年2月の家電販売額は前年比+3.1%(全国+0.6%)。

・ 商品別では、カラーテレビ+20.5%、DVD+32.2%、空気清浄機+35.2%等が前年を上回った。マイナスだったのは、エアコン▲16.2%、携帯電話▲23.5%等。

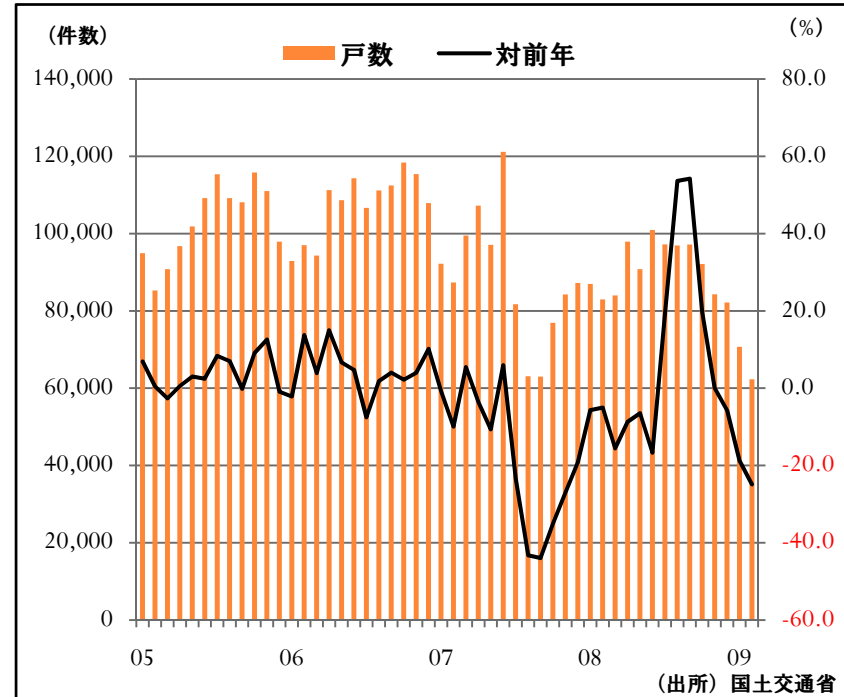
～住宅投資～

新規住宅着工戸数（近畿・09年2月まで）



- ・ 新設住宅着工件数を見ると、08年7～11月は改正建築基準法（07年6月）の反動により前年同月比増となっていたが、12月は▲8.3%と減少に転じた。08年通年では▲1.6%の減少。
- ・ 1月は▲23.7%、2月は▲27.0%と減少幅が拡大。建築基準法改正時以来の低水準の実績になっている。
- ・ 雇用環境の悪化も予想される中、先行きも低調な推移が予想される。

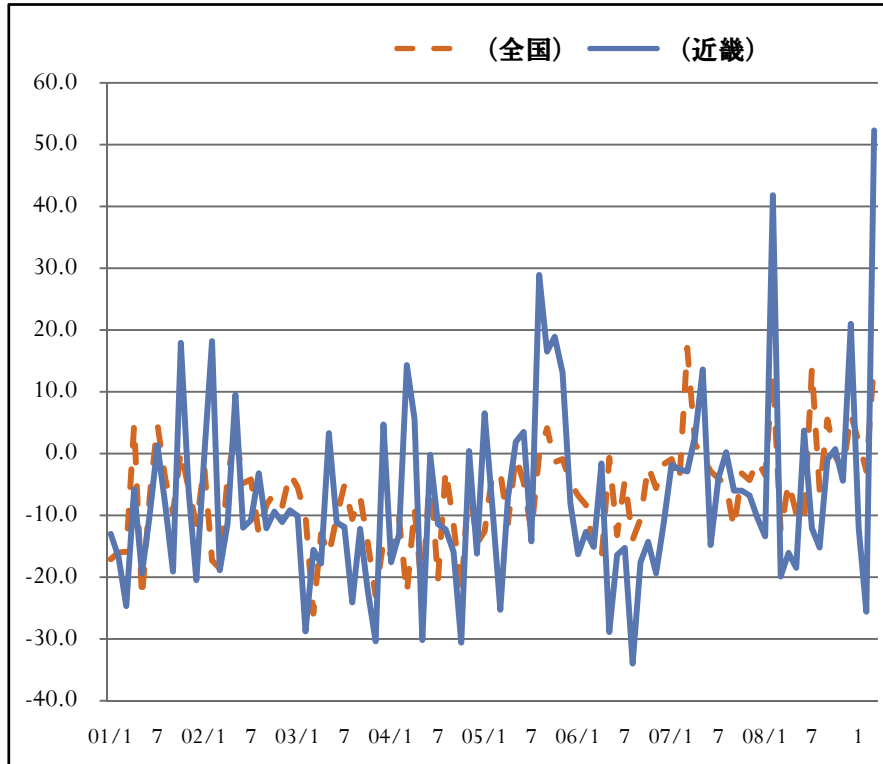
新規住宅着工戸数（全国・09年2月まで）



- ・ 近畿と同様、08年7～11月は改正建築基準法（07年6月）の反動増となったが、12月は▲5.8%とマイナスに転じた。08年通年では+3.1%。
- ・ 09年1月は▲18.7%、2月は▲24.9%と低調。

～公共事業～

公共工事動向（前年同月比 請負金額・09年3月まで）

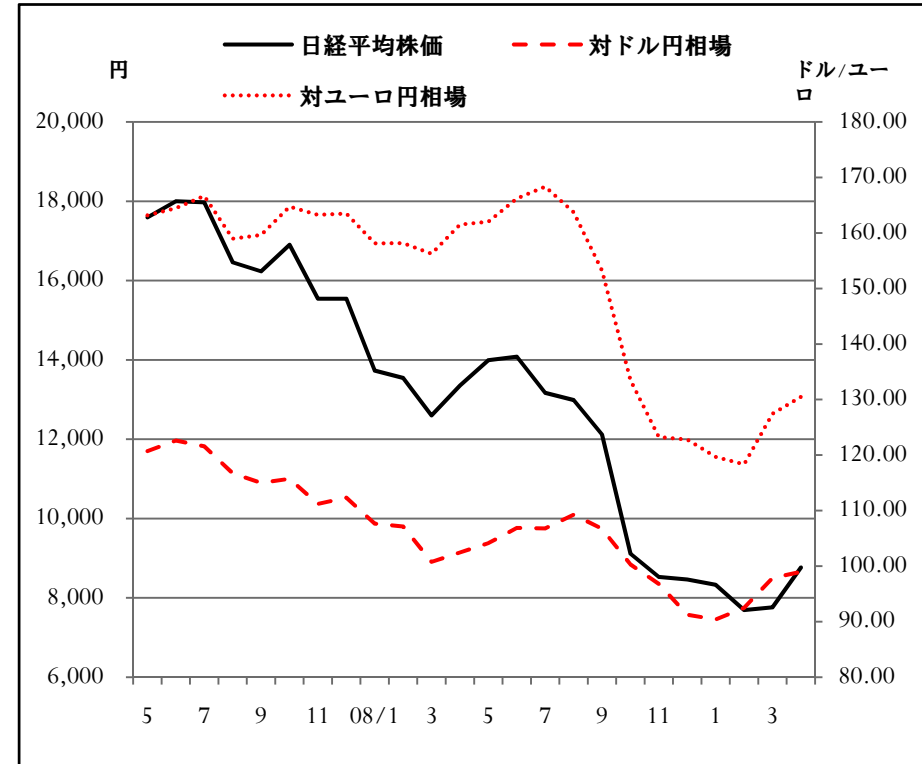


（出所）西日本建設業保証

- ・09年3月の近畿の公共工事は前年同月比+52.3%と大幅増で1,994億円となった。
- ・9号線や第二阪和国道のトンネル工事、第二京阪工事等、京都の国立博物館建築工事、大阪の藤白台住宅改善事業建設工事、また、理化学研究所による兵庫の次世代スーパーコンピュータ施設とX線レーザー施設が増加に寄与。

～株式・為替相場～

株式・為替相場の動き（期中平均値・09年4月まで）



（出所）日本経済新聞社

- ・4月の日経平均株価(期中平均)は、8,768円で3月より1,003円上昇。
- ・4月の対ドル円相場(期中平均)は、99円、対ユーロ円相場は130.5円で、3月とほぼ横ばいであった。

～今後の経済見通し～

各シンクタンクなどの成長率見通し

		08年度	09年度	10年度
三菱UFJ	関西(4/16)	-2.5%	-3.2%	—
	中部(4/16)	-3.2%	-3.6%	—
	全国(2/23)	-2.9%	-4.7%	—
日本総研	関西(12/11)	0.2%	-0.8%	—
	全国(2/16)	-3.5%	-6.0%	—
KISER	関西(2/24)	-2.2%	-3.1%	1.6%
	全国(2/24)	-2.8%	-3.7%	1.5%

政府・日銀の成長率見通し

		08年度	09年度	10年度
内閣府	全国(4/27)	-3.1%	-3.3%	—
	↑	↑	↑	
内閣府	全国(1/19)	-0.8%	0.0%	—
日銀	全国(4/30)	-3.2%	-3.1%	1.2%
	↑	↑	↑	↑
日銀	全国(1/20)	-1.8%	-2.0%	1.5%

- ・ 関西経済については09年度まで三菱UFJ、KISERともマイナス成長を予想した。発表のたびに下方修正が相次ぐ。
- ・ 内閣府 09年度経済見直しを見直し、実質GDP 09年度▲3.3%に下方修正。
▲3.3%には、経済危機対策による実質GDP押し上げ効果1.9%分が織り込まれている。
 - 内訳 民間最終消費支出 0.7%程度
 - 民間住宅 0.1%程度
 - 民間企業設備 0.4%程度
 - 政府最終消費支出 0.2%程度
 - 公的固定資本形成 0.6%程度
- ・ 日銀 実質GDP見直しを1月見直しから下方修正。08年度▲3.2%、09年度▲3.1%。10年度は+成長を見込む。